

議 事 調 書																																					
事 案 の 表 示	令和８年度第２回聖籠町総合教育会議																																				
場 所	聖籠町役場 第２会議室																																				
日 時	令和８年８月２７日(木) 午前９時３０分から午前１０時４５分																																				
出 席 者	<table><tr><td rowspan="6">会議構成者</td><td>聖 籠 町 長</td><td colspan="2">西脇 道夫</td></tr><tr><td>教 育 長</td><td colspan="2">近藤 朗</td></tr><tr><td rowspan="4">教 育 委 員</td><td colspan="2">佐藤 政志</td></tr><tr><td colspan="2">佐久間 千都</td></tr><tr><td colspan="2">高橋 真弓</td></tr><tr><td colspan="2">高橋 恵（欠席）</td></tr><tr><td>オブザーバー</td><td>副 町 長</td><td colspan="2">高松 光志</td></tr><tr><td rowspan="5">事 務 局</td><td rowspan="2">総 合 政 策 課</td><td>課 長</td><td>小林 幸宏</td></tr><tr><td>主 幹</td><td>高橋 誠司</td></tr><tr><td>子 ども 教 育 課</td><td>課 長</td><td>小林 和浩</td></tr><tr><td rowspan="2">教 育 未 来 課</td><td>課 長</td><td>小林 裕之</td></tr><tr><td>副 参 事</td><td>阿部 香</td></tr></table>			会議構成者	聖 籠 町 長	西脇 道夫		教 育 長	近藤 朗		教 育 委 員	佐藤 政志		佐久間 千都		高橋 真弓		高橋 恵（欠席）		オブザーバー	副 町 長	高松 光志		事 務 局	総 合 政 策 課	課 長	小林 幸宏	主 幹	高橋 誠司	子 ども 教 育 課	課 長	小林 和浩	教 育 未 来 課	課 長	小林 裕之	副 参 事	阿部 香
会議構成者	聖 籠 町 長	西脇 道夫																																			
	教 育 長	近藤 朗																																			
	教 育 委 員	佐藤 政志																																			
		佐久間 千都																																			
		高橋 真弓																																			
		高橋 恵（欠席）																																			
オブザーバー	副 町 長	高松 光志																																			
事 務 局	総 合 政 策 課	課 長	小林 幸宏																																		
		主 幹	高橋 誠司																																		
	子 ども 教 育 課	課 長	小林 和浩																																		
	教 育 未 来 課	課 長	小林 裕之																																		
		副 参 事	阿部 香																																		
会 議 の 要 旨	別紙のとおり																																				

(別紙) 会議の要旨

議事 聖籠中学校の運営方式について

発言者	発言内容
町長	聖籠中学校運営方式検討委員会（以下、「検討委員会」と記載。）から教育委員会に「聖籠中学校運営方式に関する中間報告書（以下、「中間報告書」と記載。）」が提出された。これについて、事務局から説明をお願いする。
事務局	（中間報告書を読み上げして説明）
町長	これについて、委員の皆様からご意見、ご質問をお願いしたい。
委員	14 ページの 6（3）検討結果に、「学級をベースとし、今までの教科センター方式の良さを活用しながら教科の学習が充実するようにする。」とあるが、教科センターの良さをどのように取り入れるのか教えていただきたい。
事務局	検討委員会では、同じ教科の教員が集まって準備・研究し専門性を高められた点や教科ごとのオープンスペースが充実していた点などを教科センター方式の良さとして認識し、その活用案としては、学級固定方式であっても教科の専門性を高めるための教科部会等の時間を確保することや、現在ロッカーになっているオープンスペースの場所を教科学習の環境に整備することなどが上げられた。
委員	<p>短期間で分かりやすく中間報告書をまとめていただき、委員の方々に感謝申し上げる。総合教育会議では、検討委員会が開校当時の教科センター方式は現実的には難しいと結論付けたことを共有し、次の課題として、校舎の使い方について検討していかなければいけないと感じた。特に、教育の平等性を踏まえた広さの違う教室の使い方や、現在ほとんど使われていないホームベースの活用の検討が必要である。</p> <p>中間報告書は的確で、この方向性に沿って総合教育会議で検討し、また、学校と教育委員会が相談しながら決めていかなければいけないと考える。</p>
委員	3 ページに、教科センター方式の課題として「教員が担任する生徒に目が届かない、移動が多く生徒の混乱を招く、孤立する生徒が生まれる」などの課題が記載されていたが、これらの課題を考えると、中間報告書にあるとおり学級固定型のほうが望ましいと感じる。
町長	せっかくの機会であるので、皆様から意見をいただきたい。
教育長	<p>検討委員会が中間報告書で結論付けた内容に賛成する。</p> <p>付帯意見として、「町及び教育委員会の人的、物的な支援を検討する必要がある」とあったが、検討委員会ではどのような支援をイメージしていたか分かれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>物的な支援としては、教室の近くに設置するロッカーの買い替えなどが必要ではないかという意見があった。</p> <p>人的な支援としては、2 つ意見があった。1 つ目は、小さい教室があることをメリットとして捉え、講師を配置して少人数クラスを編成してはどうかという意見。2 つ目は、地域交流棟の利活用として地域コーディネーターに当たる人材の確保などが考えられるという意見であった。</p>
教育長	地域交流棟の活用を踏まえた人的支援は検討していく余地があるが、中学校は教職員数が多いため、クラスが増えても新たな講師の必要性は低い認識である。実際にど

(別紙) 会議の要旨

	のような支援が必要か、学校と教育委員会で協議していきたい。
委員	私も中間報告書の意見に賛成する。
副町長	中間報告書には、町民アンケートの実施の要否については記載されていない。今後、教育委員会や町がアンケートをどうするか決めていくという認識で良いか。
事務局	検討委員会からは、町民アンケートは教科センター方式の評価をすることにはすぐわず、必要に応じて、今後子どもたちをどのように育てていきたいかという意向を問うアンケートを実施するのであれば、検討に活かすことができる可能性があるという結論を受けている。アンケート実施の要否に関しては、教育委員会や町としての考え方を確認する必要がある。
副町長	聖籠中学校における教科センター方式の目標やねらいに対し、実際に運営してみた結果、学力や生徒の自主性等の成長がどうであったかという評価はされていない。検討委員会に評価を求めているため記載がないのか、評価が難しかったのか。
事務局	<p>学力については、全国学力・学習状況調査等はあるが、この25年の間にその内容や方法も変わってきていること、聖籠中学校の教科センター方式も年々変遷していたことから、それぞれの時点及び現在を比較することの的確性の観点において評価は困難であるという結論である。</p> <p>また、自主性等の成長の評価については、卒業生へのアンケートにより調査する案があったが、運営方式について質問したとしても、10年、20年前の経験について回答するにあたっては個人の中学校での総合的な思い出の良し悪しに大きく影響を受ける可能性が考えられ、集計結果の取扱いの面で懸念があるという意見が出された。以上から、評価については中間報告書に記載されていない。</p>
町長	検討委員会としても、最終報告に向けて総合教育会議の考え方を確認しておきたい意図があると思うが、皆様から意見をいただき、総合教育会議として中間報告書で示された方向性で進めることを了承したということによろしいか。
副町長	検討委員会では今後引き続き検討していく内容があるということか。中間報告書の内容にさらに情報を追加して最終報告書ができるという考え方で良いか。
事務局	検討委員会には、総合教育会議で中間報告書の方向性で了承いただいたこと及び議事の中での質疑応答の内容を報告する。また、アンケートに関しては、教育委員会や町の考え方を再度確認したい。それらを踏まえた最終報告になると考えている。
教育長	運営方式の方向性は、総合教育会議で了承することによりほぼ決定すると言える。この会議の内容を検討委員会に報告し、検討委員会が運営方式について引き続き検討すべき内容があると判断した場合は検討を続けていただくと思うが、運営方式が決まれば、今後は校舎の使い方や学校への支援内容の検討が中心となる。これを検討するには運営方式の検討とは専門性が異なるため、検討委員会としては、中間報告書の内容が最終報告書となることも差し支えないと考える。
町長	<p>検討委員会に具体的な校舎の活用方法の検討を求めることは、教育長の意見のとおり専門分野を超えた内容である。</p> <p>中間報告書は、学級固定方式が望ましいという検討結果を最終報告で提言することについて、事前に町及び教育委員会に報告する意図もあったと認識しているが、総合</p>

(別紙) 会議の要旨

	教育会議としては、この方向性を了承し、検討委員会が最終報告をまとめる上で、校舎の活用については参考意見があれば付していただければ良いという考え方でよろしいか。
委員	町民アンケートの実施の要否について、どうすべきか。検討委員会では、運営方式についてのアンケートを実施することは難しいとの見解だが、聖籠町の教育について問うアンケートを実施するとなれば、検討委員会の役割を超え、本来の趣旨と異なることになるのではないかと。私は、中間報告書で一定の方向性が出ているため、アンケートを実施する必要はないと考える。
町長	ご意見のとおり、中間報告書にはアンケートについての考え方は記載されておらず、議論する必要がある。町としては、今までの経緯を考慮し、これまでの評価をするためのアンケートもしくはヒアリング調査をしないことが妥当なのか判断しかねている。教育長はどのように考えるか。
教育長	最終報告書に検討委員会としてのアンケート等による調査についての考え方を明記してもらい、それを受けて総合教育会議としてどのようにするか判断していけば良いと考える。
町長	視察では、町民への説明は特段行っていない学校もあったが、聖籠町においては広くお知らせしながら進めていくべきだと考えている。ついては、中間報告書を町議会に報告し、また、町民にも広報に掲載する等によりお知らせし、意見をいただいた上で今後のアンケートの要否などを考えていきたいと思うがいかがか。
委員	適当である。
町長	それでは、検討委員会の中間報告書の方向性を了承し、中間報告書については議会及び町民にもお知らせし、意見をいただいたうえで、再検討していくことを決定事項としたいが、よろしいか。
一同	(異議なし)
町長	それでは、本日の議事は以上とする。

以上